

ご協力ありがとうございます！

(敬称略)

【5月の新入会】

シブス株式会社 (センター)
山北 一正 (センター)



【5月の寄付品】

芦田奈々、ニンジン、泉利佳、河内つぐみ
(有)ミュージックスタートレンドエンタープライズ
渡辺典子、(株)丸善自動車、瓜生道明
(株)クリスター、志賀康弘、西村征子、中垣豊
堤慎一郎、コテージガーデン、原田明
お茶の中山先生、諸江葉月、荏原美知勝
田中康子

鬼木大明神 今月の一句

人生は山あり谷ありだ！
どんな人にも苦境が訪れる時がある。
また苦境続きで心が折れそうになることもある。
その時の究極の選択は、一人の人間としての誇りを
失わないことだ！
局面打開は難しいが、そういう時はもう「がむしゃら」と
いうことしかない！
下手に知恵など働かせるな！
結果も考えるな！
ただただ「がむしゃら」になんでも
やってみろ！
「がむしゃら」な時ほど、人間、強いものは
ないのだ！！



6月号の予定

- 1日 こらぼらQでん田植え、体験農園梅酵素づくり
- 2日 「子どもの森」朝倉フォーラム
- 3日 脇山小学校対面式
- 4日 長崎県立大学交流会、
オイスカ長崎県推進協議会総会
オイスカ佐賀県推進協議会幹事会
- 5日 オイスカ活動鹿児島県推進協議会総会
技能実習生・ザイムル試験
- 8日 体験農園田植え
研修生日本語スピーチコンテスト
オイスカ朝倉推進協議会役員会
- 13日 オイスカ佐賀県推進協議会総会
- 14日 若竹保育園田植え
- 15日 脇山小学校田植え
- 19日 アトリエ木下サマースクール交流会
- 28日 ニコ帰国

アテナの「私に言わせて」

センターでの気温がどんどん暖かくなりました。みんながTシャツを着れるようになって、嬉しくなります。

重たい冬の上着を一旦タンスにしまっておきます。日本の夏は新しい研修生にとって初めての体験です。日本は朝から夜まで暑くて大変だと思います。

みんな、頑張りましょうね～！

まるごと!西日本

発行:(公財)オイスカ西日本研修センター まるごと部
福岡市早良区小笠木 678-1
TEL(092)803-0311 FAX(092)803-0322
E-mail: oiscantc@oisca.org 検索 **オイスカ西日本**

第 668 号

令和元年 6 月号付録

「青・黒の 2 色刷り」



←Facebook と Instagram に日頃の様子を更新中！
是非チェックお願いします！



令和元年度 海外研修生入所式

五月晴れの好天に恵まれた 5 月 11 日、令和元年度の新研修生の入所式を執り行いました。
今年度は 11 ヶ国 1 地域より 18 名の研修生を受け入れ、来年 3 月の帰国まで、日本でしっかりと学んでもらいます。
当日は、西日本支部、瓜生会長を始め、県、市、その他多くのご来賓並びにオイスカの支援者の皆様約 130 名にご参席頂き、研修生を迎えて頂きました。
研修生代表スピーチでは、マレーシアのアスラム氏が「この 1 年間の時間を大切にし、この日本で多くの事を学び、多くの体験をしたい」と抱負を述べました。6 月末までの 2 か月間は、日本語の猛特訓となりますが、一日も早く日本語を習得し、多くの事を学んで欲しいものです。オイスカ支援者の皆様、彼らの成長、これからもご支援よろしくお願いします。(広瀬)



国の紹介を発表しているミャンマーのサイさん

西日本支部第16回運営委員会

4月24日、オイスカ西日本支部第16回運営委員会が九州電力で行われました。運営委員会には各運営会社8社よりご出席をいただき、田中委員長のもと平成30年度事業報告並びに平成31年度(令和元年度)事業計画及び収支予算案を討議していただきました。啓発普及事業のワンコインチャリティ募金サポータープログラムをはじめ各種取り組みも多くの方々のご参加、ご協力により広がってきています。本議案は5月28日に開催予定の西日本支部幹事会で審議され、新たな年度に向け更なる会員拡大を図り取り組みが進められていくことになります。運営委員会の皆様これからもよろしくお願いします。(満川)



運営委員会の様子

鯉の会(日本舞踊の披露)鑑賞

5 月 5 日(子どもの日)、大濠公園にある能楽堂にて開催された、鯉の会(日本舞踊の発表)の鑑賞に研修生全員を連れて行ってきました。
本イベントは、毎年九州電力の松尾相談役からのご厚意でチケットを手配していただき、参加させていただいております。研修生は初めて見る日本舞踊の世界にうっとりしながら見入っていました。
特に海外からの留学生が披露する踊りは、短期間で大変上手に踊っていたので一同驚きながら動画におさめていました。
日本舞踊の鑑賞の後は、大濠公園の池を泳ぐ鯉の大きさにびっくりしながら「これはつかまえてもいいですか?」と言いながら動画におさめていました。
(豊田)





OB 研修生の紹介コーナー ④

インドネシアの Cahyo Arih Pambudi です。1995年度の農業(JICA)研修生です。私は2回日本へ行ったことがあります。2回目は1998年に「子供の森」計画の関係で行きました。1999年～2012年は、東京海上のマングローブプロジェクトの仕事をしました。2013年～2017年、自分の養鶏をしました。現在の仕事はJMA・STC(Smart Training Center)・オイスカバンユワンギ研修センターでの事業部を担当して、機械科のスタッフです。この研修センターで他のOBと一緒に働いています。私は2000年に結婚して、子供2人居ます。奥さんはオイスカチメンテン、スカブミ研修センターのOB研修生です。一番上の子供は15歳、2番目は7歳です。日本で学んだことは今までもインドネシアで使っています。毎日楽しい仕事をしています。オイスカ西日本の先生方、オイスカメンバーと支援者の皆さん、応援ありがとうございます。



私の家族



オイスカバンユワンギ研修センターで
パパイヤを管理している様子



パパイヤを収穫をしている
様子

(公財)オイスカ西日本支部 幹事会

5月28日、九州電力㈱本社会議室にて「第9回 オイスカ西日本支部幹事会」が開催されました。瓜生道明会長を議長として、九州各地の幹事(37名)が集い、平成30年度の事業報告・決算報告並びに、令和元年度の事業予定・予算について討議が行われました。52年目を迎えた西日本研修センターの活動をどの様に拡大・充実させていくかを討議頂き、新たな目標に向かって進む決意を幹事の皆様と共に共有しました。西日本研修センターの活動を展開する上で、貴重な財源となる会員・会費の増強に向けて活動を強化することが重要項目として検討されました。幹事並びに会員の皆様からの積極的なご支援、今後ともよろしくお願い致します。(広瀬)



研修生達と子供大使を紹介している様子



幹事会の様子



OB 研修生の紹介コーナー ⑤

フィリピンの Abdulsalam Batao です。フィリピンの南ラナオ州マラウィ・イスラム市から来ました。1993年度の農業一般の研修生でした。25歳で研修に行きましたが今は51歳になりました。私は日本へ研修に行く前に結婚をしました。1986年に結婚をして、子供は8人(女5名、男3人)います。1番上の子は32歳で、一番下の子は12歳です。私は4人の孫がいます。1994年～2005年までは南ラナオ州の州議会議事堂での農業技術者、2005年～2018年までは州知事事務所での農業センター長、2018年現在は南ラナオ州の農学者です。2017年から現在、オイスカラナオ研修センター上部ランカッパ・ミンダナオ州立大学・マラウィはオイスカOBがオイスカ農場として利用をしています。ミンダナオ州立大学から5ヘクタールの農場と研修用の建物を建設いただきました。故片岡けんじ氏の時(1987年～1989年)1軒に7つ部屋がある建物が建てられました。今までも使っています。カカオの苗と野菜の苗の小さな建物が新しく建てられました。センターで甘・辛唐辛子、なす、レタス、オクラ、キュウリ、白いネギ、パパイヤを植えています。100匹の空地養鶏があります。センターでは大きなトラクターや3台の農業用の車があります。オイスカファームはSEC(証券取引委員会)とCDA(共同開発機関)に協同組合として登録されています。このオイスカファームはオイスカOB4名が管理をしています。「私とジャワッドさんとポングさん」は西日本のOB、アベルさんはオイスカ本部ベースのOBです。オイスカファームの野菜などはコオップで売ります。収入は労働者とOB研修生ボランティアの小規模農場に与えられてとセンターのメンテナンスなどに使います。日本で学んだ技術はセンターでも使っています。オイスカマラウィはみんな頑張っています。



私の家族(奥さん、娘、孫)



オイスカファームの野菜畑



ゴネゴッショ(ビジネスに行こう)「準政府
府のプロジェクトの式典のゲストスピー
カーでした。



Diphangampon Solaiman (ポーン)

2002年度、農業者育成

(JICA)コース

フィリピンへ帰ったら
オイスカファームの責
任者一人です。

レタスのパッキング
をしているポーンさん
📷



Jawad Solaiman (ジャウ)

2004年度、農業者育成

(JICA)コース、ポーンさん
と同じオイスカファームの
責任者の一人です。

インタビューをされ
たときの様子 📷



オイスカセンターのグランド前に、1988
年に故片岡けんじ氏が植えた木のした
でオイスカOB責任者とお客さんが
ミーティングをする様子



オイスカセンターの正面で撮った写真。
オイスカOBの責任者とお客さん達。
(2019年5月30日)



南ラナオと北ラナオの自然災害受益者に
対するプロジェクト支援の実施における
支援と調整が認められ、UNFAOから感
謝状を授与された。
(2019年4月3日)

須恵町国際交流協会総会交流会

5月25日(土)、須恵町地域活性化センター「オイコス」で須恵町国際交流協会の総会が行われ、総会後の交流会の中でオイスカの紹介をする時間が設けられました。

フィジーのOB研修生のニコさんがフィジーについてとオイスカフィジーの活動についてプレゼンをしました。約40名がそのプレゼンを興味深く聞いて、多くの質問に答えていました。須恵町国際交流協会とは夏にBBQ、冬にクリスマス会と研修生との交流も盛んに行われています。今後も継続して交流できればと考えています。(安東)



日本語の勉強②「愛してる♥」

日本語の勉強が始まって7週間が経ち、田んぼや畑での農業実習も忙しくなってきました。今は、形容詞や動詞の活用に頭がぐるぐるになっているようです。

そんな中、習った文型で「I love you」は日本語で…?と投げかけると、ミャンマー研修生サイさんがすかさず「愛してる」と答えました。その後、「愛してる」の各国語がジェスチャーつきで発表され、教室が愛で満たされました。

別のクラスで同じ内容をしたところ、「家族にはこう言います、友達には、恋人には」と対象によって表現が違うことをメキシコ研修生エリサさんが教えてくれました。フィジー研修生トムさんも同様のことを言い、「日本では?」と逆に質問されました。日本人は「愛してる」より「好き」のほうをよく使い、どちらにしても、あまり言葉で表現しないことを話しました。みんな少し寂しそうでした。「研修生、大好きです♥」がんばれ、研修生。(立石考子)

エリサさんとモーセスさんが真剣に勉強をしている様子



Bクラスの日本語クラスの様子



茶摘み大会の開催

5月18日(土)、久しぶりの恵みの雨がちょうど茶摘みイベントの日という事で、予定されていた茶摘み作業は中止にして、製茶作業のみを車庫の中で行いました。

参加者は、JR九州の社員の方4名をはじめ体験農園の参加者合わせて30名程度が参加して釜炒り茶の製茶作業を楽しみました。

作業の合間に聞くお茶の話は大変興味深く、皆さん手を動かしながら感心した様子で聞き入っていました。

昼食時には完成した茶葉でお茶を出したところ、みなさん「香りがとてもよくて美味しい」と感激の声をいただきました。

昼食として出したマレーシアカレーもとても美味しいとお褒めの言葉をいただきました。(豊田)

楽しく茶葉を炒っている様子



研修生の紹介コーナー ①



インドから来ました **Manthody Radhakrishnan Dileep** です。ニックネームはディリープです。25歳です。環境保全型農業技術コースです。ソーシャルワークの修士号が終わってから、オイスカ南インドで「子供の森」計画と漢方薬および家庭用救済策プロジェクトのコーディネーターとして入りました。その経験は私にとって現代の農業と環境保護の分野についてもっと学ぶことへの関心を高めました。

☺ ☺ ??ディリープさんに聞いてみましょう?? ☺ ☺

●インドのおすすめの場所は? ☞ インドには29の州があり、各州には様々重要で有名な歴史的な場所があります。インドで最も有名な場所はタージ・マハルです。北部アーグラにある、ムガル帝国第5代皇帝シャー・ジャハーンが1631年に死去した愛妃ムムタズ・マハルのため建設した総大理石の墓廟です。インド・イスラム文化の代表的建築であります。1632年着工、1653年竣工とされます。タージ・マハルは世界の8つの驚異のうちの1つとみなされています。全体が白い大理石で出来ています。その見事な建築上の美しさは、特に夜明けと夕暮れ時には十分は説明がありません。満月の光の中で輝いているようです。

●日本料理で何が1番好きですか? ☞ インドの食べ物と日本の食べ物は全く違います。日本の食べ物はおいしいと健康的な食べ物です。ほとんど好きですがすき焼きと天ぷらが好きです。

●日本はどうですか? ☞ 大学生時代から日本へ行くのが夢で、日本の豊かな文化と伝統を体験してみたいです。日本のことを色々な情報で聞きました。日本はとてもきれいです。日本と日本人が大好きです。

●日本での目標、頑張ることはなんですか? ☞ 日本の文化とライフスタイルと技術などを勉強したいです。そして、日本と他の国の違いを勉強したいです。アクションプランを作って、若者を教育をして、環境に優しいインドを作りたいです。



☞ ディリープとエリサが釣りに行った時、魚を取った時の様子

メキシコから来ました **Garcia Rodriguez Elisa** です。ニックネームはエリサです。28歳です。環境保全型農業技術コースです。日本来る前にオイスカメキシコのプロジェクトと「子供の森」計画のプロジェクトで活躍しました。メキシコの子供たちと一緒に木を植えるなどです。

☺ ☺ ??エリサさんに聞いてみましょう?? ☺ ☺

●メキシコのおすすめ料理は? ☞ タコスです。メキシコを代表する料理のひとつで、メキシコ人の主食であるトウモロコシのトルティーヤで様々な具を包んで食べる、まさに国民食と言えるものです。“taco”という単語その物が「軽食」を意味します。タコスを専門とする飲食店をスペイン語でタケリーアといいます。石灰水処理したトウモロコシをすりつぶして作る生地(トルティーヤ・マサ)を薄くのばしてコマルや鉄板で焼いたトルティーヤに具を盛り、好みでライムの汁をしぼってかけたり、サルサをかけて食べます。北部メキシコではトウモロコシの代わりに小麦粉のトルティーヤが使われることもあります。

●日本の料理は何が好きですか? ☞ 天ぷらが好きです。美味しいです。

●日本はどうですか? ☞ 日本はとても素敵な国です。日本人はとてもフレンドリーです。日本の学校はとても面白いです。学校の給食も面白いと美味しいです。

●日本での目標、頑張ることは何ですか? ☞ 日本語を勉強することです。そして、日本人といろんな国から来ている人と友達になりたいです。色々な文化あるからお互いに学びます。

●好きな言葉は何ですか? ☞ 楽しい!!! 毎日小さなことでも楽しくやれば、周りも楽しい雰囲気になると思います。いつでも、どこでもハッピー!!!!



タージ・マハル

九州電力主催「プレイフォーレスト」に参加

5月26日(日)、福岡市舞鶴公園で開催された九州電力主催の「プレイフォーレスト」に参加してきました。当日は30度を超える猛暑日の中でしたが、大勢の家族連れが参加して様々なブースで体験活動が行われました。オイスカコーナーでは「積み木広場」の開催を行い、沢山の子どもたちが積み木を使っていろいろな作品を作ってくれました。また、お昼の時、参加者が一番多い時間帯に、広場の一角で海外研修生のパフォーマンスという事で、民族舞踊の披露も行いました。研修生も汗をかきながら一生懸命踊りや歌を披露してくれたお陰で、会場は大いに盛り上がりました。「森と友達になろう」をテーマに開催されたこのイベントですが、研修生にとって学びも多く、楽しい思い出をつくる事が出来ました。(豊田)



👉 研修生・男チームのメケダンス



👉 研修生・女チームのメキシコダンス



👉 子供達と一緒に積み木をしている様子

博多どんたく出演

5月4日、今年の研修生初出演、博多どんたく港まつりの西新演舞台と知事公舎に出演させていただきました。今年は研修生に加え技能実習生とインターン生も参加し、フィジーのメケとメキシコのラブルジャ、PNGのユミハママスを歌い、ステージを盛り上げました。西新演舞台では野菜の販売も行い、多くの方がオイスカブースに立ち寄ってくれました。知事公舎ではひょっとこ踊りがあり、研修生達は様々な表情のお面と踊りを見て一緒に踊って楽しんでいました。今年もステージに出演させていただきありがとうございました。(園田)

西新演舞台で踊っている
研修生の様子



知事公舎で楽しく踊っている
男性チームの様子

脇山走ろう会

5月19日、毎年恒例の脇山走ろう会に参加をしました。当日は曇りで風もあり、走りやすい天候でした。女性は1.3kmのショート、男性は2kmのロングを走りました。走る前、研修生達は「短い距離だから大丈夫!」と自信満々な様子でしたが実際に走ってみると案外にきつかったようです。最後まで無事に走りきることができて良かったです。毎朝の点呼でのランニングがいい練習になっていたのかもしれません。今年はロングの部でモーセスさんが3位に入賞しました!!(園田)



熊本復興支援ボランティア参加

5月29日(水)、令和元年初となる熊本支援ボランティアに研修生、スタッフ合わせて14名で参加してきました。今回の草刈り支援の活動場所は、震災当時最も被害が大きかったと言われる大切畑地区で、一緒に活動に参加した地元の方の話を聞くと、当時30世帯ほどあった集落が現在は1世帯のみあり、それ以外の方は今でも仮設住宅に住んでいるそうです。当日の作業は、道路の両脇や斜面の草刈りが中心となりましたが、当初の予定より作業が大幅に進んだので地元の方にも大変喜んでいただきました。また、農業ボランティアの活動については、サツマイモの植え付け作業を終日行いました。「中腰の姿勢で作業をすることが大変でした」と研修生は話していましたが、農家の方からは、「植え付けの作業がはかどってとても助かりました」と感謝の言葉をいただきました。震災から3年余りが経過しましたが、まだまだ不自由な生活を強いられている地元の方の現状を踏まえたくて、活動を継続していきたいと思います。(豊田)



初めてサツマイモを植える
モンゴル研修生の様子



農業が大好きなメキシコ研修生の
エリサさんが面白い農業道具で
楽しく作業をしている様子

新技能実習生配属(株式会社 オークマ)

3月に来日しセンターで2カ月間の日本語を中心とする講習を終えた4名の実習生が5月15日と23日に株式会社オークマの朝倉、宝珠山の2工場にそれぞれ2名ずつ配属されました。先輩の4名と合わせ、各4名ずつの配属となりました。配属当日は、かなり緊張した様子で不安と期待と入り混じった顔つきをしていましたが、先日インドネシア駐在代表の中垣氏夫妻が一時帰国期間を利用して巡回指導に見えた時には、まだ実習が始まって1週間足らずでしたがそれぞれの持ち場で指導員や先輩実習生の指示を受けて手際よく作業にあたっていました。これから約3年間、母国から離れての生活になりますが怪我や病気など体調に気を付けて、しっかりと実習にあたってもらいたと思います。(彦坂)



朝倉工場 (左:ハイディール、デニー)新実習生
(中央:中垣夫妻)
(右:アルト、ラティフ)先輩実習生



宝珠山工場(グリッド)

2019 年「子供の森」計画子供親善大使事業

5月27日(月)からパプアニューギニアの子供大使2名とCFPのコーディネーター2名が福岡に来ました。コーディネーターのうちの1名は4年前にセンターで研修を終えたディーさんです。今回の目的は子供の森計画の参加校から子供たちを招聘し、日本の自然や文化・社会を学び、交流を通じて相互理解に努める活動となっています。

28日(火)は福岡県庁へ行き、江口副知事を表敬訪問。そのまま西日本支部幹事会の冒頭で紹介をされました。午後からは脇山小学校で交流をしましたが、学校に到着してすぐに生徒が集まってきました。5年生の教室でパプアニューギニアでの活動とダンスを披露しました。

29日(水)はオイスカ長崎県推進協議会の山下会長などにご対応いただき、ブルーベリーとマンゴーのハウス見学や学校訪問をして生徒と一緒に花の苗を植えました。その日の夜遅くに入国が遅れておりましたスリランカからの子供大使2名と校長先生、引率・通訳のアラハコーンさんが到着しました。

30日(木)はオイスカ佐賀県推進協議会にご対応いただき、佐賀県国際交流協会を表敬訪問し黒岩理事長にご対応いただきました。午後からは学校訪問しました。子供大使からの発表だけでなく、生徒から日本文化体験ということで折り紙やお手玉、けん玉を教えてもらいました。

31日(金)は福岡市内のリサイクル工場で紙漉き体験と工場見学をしました。日本のリサイクルの技術の高さに圧倒されていました。その後は太宰府天満宮の見学をしました。

6月1日(土)はこらぼらQでんの田植え交流会と午後からの脇山校区での研修生歓迎会に参加し、企業との協働や地域での取り組みについて学びました。2日(日)は朝倉でのグリーンウェイブ学生環境フォーラムで活動報告をするなど各プログラムをこなしました。

3日(月)からは宮城県へ移動し海岸林再生プロジェクトの現場などを視察します。今回の来日で多くのものを得て、現地で活躍してくれることを期待しています。(安東)



環境保全チャリティー全国歌謡選手権大会 in 福岡

5月12日第1回環境保全チャリティー全国歌謡選手権大会が福岡国際会議場で行われました。

このイベントはオイスカ会員企業のミュージックスタートレンドアカデミーの企画で開催され、当日は西日本研修センターの研修生も招かれました。開会式で自己紹介をして研修生全員

でパプアニューギニアのバンブーバンドの演奏で歌の披露を会場の皆さんへしてイベントが始まりました。歌謡選手権大会では歌の愛好家200名くらいの方が出場され、選曲された曲を会場で歌いオーディションを受けられました。このイベントの収益金の一部はオイスカの環境保全活動へご寄付いただきます。ご支援ありがとうございます。(満川)



開会式で研修生の自己紹介

研修生全員で歌の披露



アトリエ木下撮影会2019

5月21日オイスカ会員のアトリエ木下様の写真撮影会が福岡市中央区の浄水通り本店で行われ研修生22名がご招待を受けました。研修生達は民族衣装を着用し女性研修生はメイクをしていただくなど最高の表情でポーズをとり撮影をしていただきました。撮影後は新入社員さんと歌や踊りの出し物をチャペルで行い交流会を盛り上げ、食事会では社員の皆さんと美味しいフランス料理をいただきながら親睦を深めました。この撮影会も今年で4回目となり研修生たちにとって思い出に残る一日になりました。撮影いただきました写真は西日本研修センターのロビーに展示させていただきます。

木下社長様並びにスタッフのみなさま本当にありがとうございます。これからもよろしくお願いします。(満川)



アトリエ木下浄水通り本店屋上での記念撮影



木下社長夫妻とメキシコ研修生との記念撮影



食事会の時、テーブルマナーを学んだ



このような美味しい料理をいただきました！

体験農園だより

例年ですと5月は雨が比較的多く、麦の収穫の時期に農家さんは雨の合間をぬって苦勞しながら刈り取りを行っているのですが、今年は殆ど雨が降らないため麦の収穫作業は順調に行われているようです。三瀬へぬける途中の「曲淵ダム」では、底が見えるのではないかと水位が下がっている状況です。

このまま雨が降らなければ田植えが出来ないどころか生活用水にも支障が出てくると思われます。日頃何気なく使っている水ですが、その水は水源地の山から流れ出る川の水をきれいにして私たちは利用しています。

山からの恵みに感謝しながら、水源の森が現在どうなっているのか、このような時こそ関心を持ってもらう機会になればと思います。(豊田)

おかげさまでオイスカの田んぼはもうすぐ田植えが終わりです。

